

みんなで育てる「たいしの子」vol.12

幼小中一貫教育だより

「みんなで育てるたいしの子」に関する アンケート参加についてご協力をお願いします！

太子町教育委員会では、町の教育方針や取り組みについて「広報たいし」をとおして、発信をしてきました。この度、発信に対して住民のみなさまの貴重なご意見を伺いたく、アンケートを行うこととなりました。右の二次元コードを読み込んで頂くことで、簡単に回答できますので、ぜひ、ご回答ください。



アンケートは、こちらから▲

令和5年度の町立山田小学校の取り組み 「どの子にとっても安心できる環境づくりを」

本校では、様々な他者とふれあうことで、自他のよさに気づき、人間関係を深め、自己有用感や自己肯定感を高めることをめざして、たてわり活動を行っています。

たてわり活動には「高学年の多くの児童にリーダーとして活躍の場を」「低学年が安心して学校生活を送れるように」という2つの大きな目的があります。今年度は、全校児童185人を10のグループに分けました。

1学期は、「たてわり遠足」や「たてわり遊び」などを行いました。

「たてわり遠足」では、関西サイクルスポーツセンターに行きました。高学年のリーダーたちが中心となって、下の学年の児童に配慮しながら、体験するアトラクションやウォークラリーコースなどを考えて活動しました。

「たてわり遊び」では、10グループを中遊び（屋内：教室や体育館）と外遊び（屋外：運動場）に分けて活動しました。リーダー達は、グループのメンバーにやりたい遊びは何かを尋ね、当日の遊び場所や必要な持ち物を事前に周知してから取り組みました。どの活動でも「もっとやりたい！」という声が、たくさん聞かれました。

今後も児童会が中心となって楽しい行事を考え、学級・学年を越えた「人とのつながり」を大切にしながら、子どもたち一人ひとりにとって安心できる環境づくりを進めていきます。



令和5年度の町立磯長小学校の取り組み 「伝える力を伸ばす！たてわり班活動」



町立磯長小学校では昨年度までペア学年（1・6年、2・5年、3・5年）でなかよし遊びやなかよし二上遠足を行ってきました。ペア学年で、仲が深まる姿は見られましたが、ペア学年にならなかった学年とは交流をする機会をなかなか増やす事ができませんでした。

そこで、今年度より一つの班に全学年の児童がいるたてわり班活動をおこなっています。1学期は5月24日に顔合わせを行い、自己紹介の後、6年生が中心となって班で簡単なゲームをして今年のたてわり活動をスタートしました。

また、6月13日には児童会行事の準備をしました。事前に高学年が準備をしました。準備段階から児童主体で行うために、教師の出番をできるだけ少なくしました。事前に高学年の各学級の代表委員が集まり、児童会行事で行うゲームのルールを考え、実際にゲームを体験しました。また、紙コップ剣玉も作って、説明や作り方の注意を考えました。更に、代表委員は自分の学級全員に説明をおこないました。実際にゲームや工作に一度取り組んでから、本番当日に、低・中学年の前でも自信をもって取り組むことができた仕掛けをしました。

児童の自主性を尊重（児童を主語に）

児童会行事の当日、低学年児童の中には、初めてするゲームや工作に戸惑う児童が多かったです。そういった時に班の高学年が寄り添って言葉をかける場面がたくさん見られました。おかげで低学年児童は安心して過ごすことができ、その後も自然と高学年の児童に尋ねる場面が見られました。高学年で普段学級では控えめな児童も、低学年の児童に積極的に声をかける様子が沢山見られました。誰もがリーダーになるように工夫された班構成だったので、発揮できた力だったと感じます。

◆問合せ 教育総務課 ☎98-5533